

# ANN PETTIFOR

LONDON  
SPEAKER  
BUREAU

- UK-based economist, director of Policy Research in Macroeconomics, an honorary research fellow at the Political Economy Research Centre at City University, London and a fellow of the New Economics Foundation, London



Ann Pettiforは、42の最貧国による約1000億ドルの借金を解消するという世界的なキャンペーンであるJubilee 2000のリーダーとして最もよく知られています。彼女はまた、2003年の著書『The Real World Economic Outlook』で信用収縮を予測した最初の一人でした。

Ann PettiforはPRIME(マクロ経済学における政策研究)のディレクターであり、これまでのあるいは「主流」の経済理論は、進行中の慢性的な世界経済の失敗と私たち全員が直面する深刻な脅威とはほとんど関係がないことを証明した。 : 気候変動。

Pettiforは、シティ大学政治経済研究センターの名誉研究員であり、また新経済学財団およびAdvocacy International Ltdのディレクターでもあります。2015年、英国労働党の指導者は彼女を7人の経済顧問会議の1人に任命しました。そして2017年にKate Osamor MPが国際開発に関するLabourのタスクフォースに彼女を任命しました。

彼女の本には以下が含まれています：ジャストマナー - 社会がいかにして金融の独占力と来るべき世界の債務を打破できるか危機とNEFの実世界経済見通しの編集者 - グローバリゼーションの遺産：債務とデフレ。

彼女の最新の本、お金の生産はお金の性質と通貨システムを説明します『BitcoinやQEのような厄介な問題に取り組み、幅広い視聴者が利用できるように書かれています。2003年に、実世界経済見通しPalgraveの編集者として、彼女は英米の債務デフレ危機を予測した。これには「来るべき世界の債務危機」が続きました。

Pettiforのコンサルタントは、国際金融と持続可能な開発に関する調査と助言を行っています。彼らは数多くのNGO『世界エイズ基金、イギリス、ナイジェリア、ガイアナ、エチオピア、ノルウェーの政府、そしてヨルダンの女王と協力してきました。

いくつかの経済回復の兆しにもかかわらず、アンは多くの西側諸国が1930年代（そして90年代の日本）から学ぶことができなかつたと信じています。彼女は、これらの不況の教訓は、金融政策、債務管理および財政政策の慎重に調整された調整の必要性であると主張します。民間生産が完全に回復するまでは、依然として公的支出が増加するはずで

Ann Pettiforは、グリーンニューディール - クレジットクラッシュ、「ピークオイル」および気候変動によってもたらされる脅威に対処するための一連の政策 - の共著者です。経済的見通しと同様に、彼女はまた持続可能性の経済学および企業および政府内の長期戦略の絶望的な必要性を考慮する『Ann PettiforはHuffington Postに定期的に寄稿しており、現在は自分たちの気候キャンペーンであるOperation Noahに関する教会のグループに助言しています。

## Topics

- Brexit
- Economics
- Europe
- Finance
- Leadership

[info@londonspeakerbureau.my](mailto:info@londonspeakerbureau.my) +603 2301 0988